

# D-a HORIBAグループ生産協力会社 インタビュー

## HORIBA グループ生産協力会社 インタビュー

大正6年(1917年)創業の二九精密機械工業株式会社。長年培われた超微細加工の技術を追求し、世界初・βチタンの小径シームレスパイプの一貫生産を実現されました。HORIBAとのお付き合いは約50年。長きにわたり生産にご協力をいただいています。

時代と市場のニーズに合わせ、事業を展開されている二九精密機械工業株式会社 代表取締役社長 二九 良三様に、ものづくりについてのごこだわりや、HORIBAへのおもいを語っていただきました。



ふたく  
二九精密機械工業株式会社  
代表取締役社長 二九 良三 様

## 時代に沿った技術革新を進め、多分野での 活用が期待される“世界初”の技術を確立！

「私たち二九精密機械工業株式会社は、金属の微細切削加工を中心に、先々代の社長時代よりHORIBAさんへの部材供給を担わせていただいております。また昨今では、部品だけでなくユニットとしての完成品までを手がけております。レーザーを使った微細加工・レーザー溶接などを得意としている他、小径金属パイプの内径研磨など、難易度の高い各種加工技術を誇りとしております。そしてこの度、βチタン合金の極細パイプの量産に世界で初めて成功しました。

βチタンは、チタンの特徴である《強い・軽い・錆びにくい》に加え、しなやかに曲がる特性を合わせ持つことから、様々な分野での利用が期待されています。例えば、ステンレス製の手術用具は10例で錆びたり曲がったりしていましたが、βチタン製では100例以上も使用可能です。ニードルについても劣化速度が既存品の4分の1の実績があります。他にも内視鏡関係の試作品など、国内外医療系会社の注目度が高いですね。

一方このβチタンパイプは、釣り用具のスピニングリールや、鮎釣り用の竿の穂先にも採用

されています。今後は民生品にも力を入れていきます。フランスの有名ブランド会社からは、『βチタンパイプをアクセサリとして加工できないか』という問い合わせもいただいております。このように、私たちの技術を様々な分野で役立てていただけることをとてもうれしく思っております。」



βチタン



チタンニードル

## “オンリーワンのHORIBAさん”のために 活かしたい“技術とおもい”

私たちの製品をHORIBAさんに採用いただいてから、半世紀になります。その間、現会長の社長当時ですが、約25年間、生産協力会社会の会長他役員も担当させていただきました。まさにHORIBAさんと共に私たちがあったわけです。現在は、自動車排ガス測定装置『MEXA』に関するものが一番多いですね。

HORIBAさんの印象を一言で表すなら『がんこ』でしょうか(笑)。それがまかり通ることが、私にはうれしいところです。そして